北九州工業高等専門学校		開講年度	令和05年度 (2023年度)	授業科目	比較文学特論 (後期)
科目基礎情報					
科目番号	0101		科目区分	一般 / 選択	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	生産デザイン工学科 (機械創造システムコース)		対象学年	4	
開設期	後期		週時間数	2	
教科書/教材	教科書: プリントを配布する。参考書: 授業で随時紹介する。				
担当教員	北原 沙友里				
到達目標					
<ul style="list-style-type: none"> ・文学鑑賞の方法を学び、文学作品を鑑賞および解釈することができる。 ・基礎的な知識を踏まえて、自論を展開することができる。 ・適切な日本語表現で自らの考えを他者に伝えることができる。 					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安
評価項目1	専門的な知識を踏まえて、文学作品が鑑賞できている。		基礎的な知識を踏まえて、文学作品が鑑賞できている。		文学作品の鑑賞ができていない。
評価項目2	文学作品の鑑賞方法を学んだ上で、古典文学作品と現代文学作品を比較し考察できる。		文学作品の鑑賞方法を学んだ上で、古典文学作品と現代文学作品を比較し考察できない。		文学作品の鑑賞方法が理解できない。
評価項目3	古典文学作品と現代文学作品を比較をした上で、それについて専門的な知識を駆使して論述することができる。		古典文学作品と現代文学作品を比較をした上で、それについて専門的な知識を駆使して論述することができない。		古典作品と現代文学作品を比較することができない。
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・3stQでは文学作品の比較についての講義を行った上で、「桜」というテーマを取り上げ、古典作品と現代作品で「桜」がどのように扱われてきたのかを講義する。 ・4ndQでは各に『古今和歌集』の和歌を一首、Jポップの歌詞を選んでもらい、それぞれどのように「桜」を詠んでいるのかの比較検討を行う。自身の考えを整理しながら他者の意見を傾聴し、最後に自論の形成を図る。 				
授業の進め方・方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義では毎回テーマに沿った資料を配布し、それを参考にしながら進める。 ・講義では資料の解説のほか補足説明もするので、各自で講義内容をノートに記録すること。 				
注意点	<ul style="list-style-type: none"> ・講義中に参考文献を適宜紹介するので、できるだけ多くの文献を読むこと。 ・些細なことでもわからないことは自分で調べる、質問をするなど、積極的に解決しようとする。 				
授業の属性・履修上の区分					
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応	
☐ 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
		週	授業内容	週ごとの到達目標	
3rdQ		1週	イントロダクション	本講義の概要を理解する。	
		2週	古典における「桜」①	古典の散文作品でどのように桜が扱われてきたのか説明できる。	
		3週	古典における「桜」②	古典の韻文作品でどのように桜が扱われてきたのか説明できる。	
		4週	現代作品における「桜」①	現代小説の中でどのように桜が扱われているのか説明できる。	
		5週	現代作品における「桜」②	現代の歌詞の中でどのように桜が扱われているのか説明できる。	
		6週	レポートワーク	設定したテーマについての必要な資料・情報を収集することができる。それらを論理的にまとめることができる。	
		7週	まとめ①	6週までの内容をまとめ、日本の文学史における桜のモチーフ性について説明することができる。	
		8週	中間試験		
後期	4thQ	9週	プレゼンテーション①	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		10週	プレゼンテーション②	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		11週	プレゼンテーション③	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		12週	プレゼンテーション④	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		13週	プレゼンテーション⑤	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		14週	プレゼンテーション⑥	設定したテーマについて必要な資料を収集し、論理的にまとめることができる。適切な発表ができる。	
		15週	まとめ	14週までの講義や、発表、論考を踏まえて、自説を論述できる。	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週	
基礎的能力	人文・社会科学	国語	国語	論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。	3	
				論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べるができる。	3	
				文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べるができる。	3	
				常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。	3	
				類義語・対義語を思考や表現に活用できる。	3	
				社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。	3	
				専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。	3	
				報告・論文の目的に応じて、印刷物、インターネットから適切な情報を収集できる。	3	
				収集した情報を分析し、目的に応じて整理できる。	3	
				報告・論文を、整理した情報を基にして、主張が効果的に伝わるように論理の構成や展開を工夫し、作成することができる。	3	
				作成した報告・論文の内容および自分の思いや考えを、的確に口頭発表することができる。	3	
				課題に応じ、根拠に基づいて議論できる。	3	
				相手の立場や考えを尊重しつつ、議論を通して集団としての思いや考えをまとめることができる。	3	
新たな発想や他者の視点の理解に努め、自分の思いや考えを整理するための手法を実践できる。	3					

評価割合

	試験	演習・レポート	合計
総合評価割合	40	60	100
基礎的能力	40	60	100
専門的能力	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0